

NT

NISSEKI TOKYO

2020
Winter
Vol.24

Let's BOSAI



特集

つづけ、つながれ、防災

Contents

vol.24
Winter

- 04 れっどくろす News&Topics
- 06 もっと知りたい! 献血
- 特集**
- 11 つづけ、つながれ、防災
- 19 Hospital Referral
武蔵野赤十字病院／大森赤十字病院／葛飾赤十字産院
- 22 福祉施設 NEWS
- 23 国際 NEWS
- 24 行け!OLレポーター オカモト★ 日赤とつげきレポ —vol.18 献血ルーム池袋い〜すと編—
- 25 NT information
- 26 赤十字Supporters
- 27 活動資金協力者(社)・団体のご紹介
- 28 プレゼント
- 30 Rediscovery TOKYO —第17回 北千住—

「はたちの献血」キャンペーン

新成人となる「はたち」の若い方々を中心に、広く献血に関心を寄せていただきたいとの思いから全国で実施されているキャンペーンです。
令和最初のキャンペーンキャラクターは、乃木坂46。
輸血を受ける患者さんを守るためには、皆さんの献血なくしては成り立ちません。一人でも多くの献血協力者が増えることを願っています。

くわしくは▶ [はたちの献血](#) [検索](#)



PRESENT 「はたちの献血」キャンペーン
オリジナルグッズプレゼント

献血カードケース
20,000名様プレゼント

クリアファイル
30,000名様プレゼント

期間：令和2年1月1日～2月29日

赤十字の原点を改めて伝える 東京都赤十字大会を開催



令和となって初の東京都赤十字大会

2019年10月30日、明治神宮会館（渋谷区）で令和元年度東京都赤十字大会が開催されました。赤十字大会は、赤十字事業に功績のあった方々の顕彰を行うとともに、心からの感謝をお伝えするために毎年開催していま

す。本年度は、受章者の代表として22人が登壇し、日本赤十字社の大塚義治社長、梶原洋東京都支部副支部長から感謝状を授与されました。

授与式後の第2部では、「令和を迎えたい

ま、赤十字の原点を伝える」をテーマに講演と活動報告が行われました。戦場カメラマンの渡部陽一氏が「戦争の悲劇、戦場で暮らす人々の声～そこで見た赤十字が担う使命とは～」と題し、戦場でみた赤十字の活動について講演。日本赤十字社国際部の齋藤之弥参事が、これまでの赤十字の国際活動について報告しました。

会場では、台風第19号災害の義援金募集なども行い、総額で16万1,375円のご支援が集まりました。



戦場カメラマンの渡部陽一氏が講演

創業100年余の老舗から被災地へ 台風第19号で救援物資を提供

関東地方や東北地方を中心に大きな被害をもたらした台風第19号災害で、日頃から東京都支部の活動に協力いただいている株式会社京橋千疋屋様が、救援物資としてフルーツゼリー 4000個をご提供くださいました。

被災地で活動する医療救護班や保健師など支援者向けに活用するため提供されたも

ので、ニーズとマッチングした8都県12か所の被災地に配られました。避難所の対応や被災宅の訪問活動を行う保健師からは「スタッフ一同、心と身体が癒されました」と感謝の声が届きました。同社は日頃から子ども食堂などへも物資を提供しているそうです。担当の山本裕恵さんは「少しでも支援にあたる

皆さんの力になれたと思います」と話していました。



被災地に送られたゼリー



京橋千疋屋の皆さん



伊達市保原保健センタースタッフの皆さん



水戸市社会福祉協議会災害ボランティアセンターへ

【お願い】日本赤十字社では原則として物資のご提供は受け付けていません。今回の支援は、活用のためのニーズがあり、日頃から協力いただいている関係性のもと特別に実現することができました。被災地へのご支援をご希望の場合は、義援金でのご支援や各自治体のホームページなどに記載される情報に基づいていただくようお願い申し上げます。

お知らせ プロが教える赤十字終活セミナー

参加費
無料

近年、遺言による寄付（遺贈）への関心が高まっており、「これまでに築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」というお申し出が急増しています。同時に、遺贈や終活をしたいけれど、「具体的に何をしたら良いかわからない」という方も多いのが現状です。

東京都支部では、赤十字を支援していただいている皆さまに、これからの人生を生き生きと悔いなく過ごしていただきたいという思いから、遺贈はもちろん終活全般に関わるセミナーを、プロの講師をお招きして開催します。

参加をご希望の方は、東京都支部振興課までお問い合わせ・お申し込みください。



お申し込み・お問い合わせ

日本赤十字社東京都支部
振興課TEL 03-5273-6743
(平日9:00～17:30)整理整頓でスッキリ！
今日から始める生前整理日時 2020年1月30日(木)
14:00～15:30会場 日本赤十字社東京都支部
※最寄駅：「東新宿駅」B1出口すぐ講師 終活バンク株式会社
株式会社オールストーン老人ホーム選びの際の
「落とし穴」を知ろう！日時 2020年2月28日(金)
14:00～15:30会場 日本赤十字社東京都支部
※最寄駅：「東新宿駅」B1出口すぐ講師 株式会社ウィルホームコンサルプラザ
ジブラルタ生命保険株式会社祝賀御列の儀で救護活動
観覧に訪れた市民の健康を守る

東京都支部は、11月10日に開催された天皇陛下のご即位にかかる祝賀御列の儀において、観覧に訪れた方々の健康を守るため、日比谷公園内に設置された救護所で臨時救護活動を行いました。武蔵野赤十字病院の医師・看護師のほか、東京都支部の職員も現場で不測の事態に備えるべく出動。天皇皇后両陛下のお姿を一目見ようと多くの方が来訪し、日比谷公園周辺が人であふれかえる中、体調不良者が数人発生したため、迅速に救護活動を実施しました。



日比谷公園内に設置された救護所

本場の味を子どもたちに
黒龍江省同郷会の皆さんと餃子作り

子どもたちもお手伝いしました！

一般財団法人日黒龍江省同郷会の皆さんが11月14日、赤十字子供の家で手作り餃子をふるまってくださいました。昨年から実施しているもので、子どもたちも餃子パーティを心待ちにしていました。できあがった大皿いっぱいの餃子をお腹いっぱい食べた子どもたちは、「とってもおいしい」と、幸せそうな笑顔を見せていました。

さんいんアートで記念写真
葛飾赤十字産院ふれあい赤十字デー

葛飾赤十字産院は10月19日、毎年恒例の「ふれあい赤十字デー」を開催しました。看護師の仕事やマタニティエクササイズ、AEDなどの体験をはじめ、葛飾区新宿に建築中の新病院紹介コーナーも設けました。また今回は、学生赤十字奉仕団が中心となって作成した「さんいんアート」記念撮影を実施。産院公式インスタグラムと連動した投稿キャンペーンも好評で、当日は子どもたちのかわい



赤ちゃんが寝転がりアートが完成！ハートラちゃんと運動会！



もっと知りたい！献血



Q 初めての献血には何が必要？

A 運転免許証などの身分証明書（氏名、生年月日、顔写真が確認できるもの）を持参してください。

Q 献血に行く前の注意点は？

A 前日は十分な睡眠をとり、当日はしっかり食事をしてきてください。体調や健康状態、海外渡航歴等を考慮して献血をご遠慮いただくことがあります。

Q 献血って予約できるの？

A Web会員サービス「ラブラッド」に登録すると、全国すべての献血ルーム（常設施設）の予約が可能になります。また、都内献血ルームでの予約に関しては、右記フリーダイヤルにて献血希望日の前日まで受け付けています。
予約いただくと、優先してご案内することができます。

フリーダイヤル

0120-30-6002

（東京都赤十字血液センター登録課）
9:00～17:20（日・祝日、年末年始を除く）

Web会員サービス

「ラブラッド」



Q 献血した血液はどこに行くの？

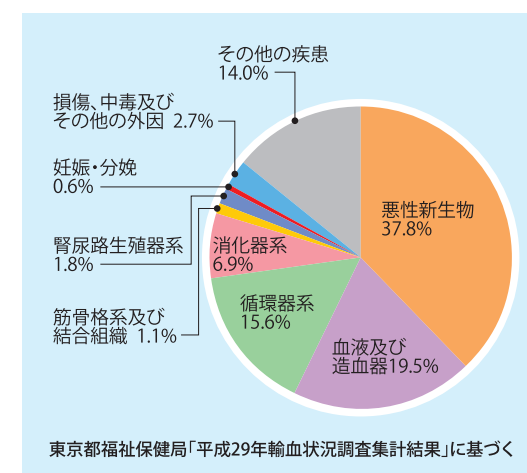
A 精密な検査や血液成分ごとに分離が行われて、赤血球、血小板、血漿などの輸血用血液製剤となり、適切な温度下で保管されます。医療機関からの要請に24時間365日対応できる体制を整えており、患者さんが必要とする時に血液が届けられます。

<主な輸血用血液製剤の種類>

赤血球製剤	保存温度：2～6℃ 有効期間：採血後21日間
血漿製剤	保存温度：-20℃以下 有効期間：採血後1年間
血小板製剤	保存温度：20～24℃ 有効期間：採血後4日間 要振とう

Q 血液はどんな患者さんに使われているの？

A 輸血を必要としている方の多くは、がん患者さんです。



Q 献血できる年齢は？

A 男女ともに16歳から64歳まで。60～64歳の間に献血の経験がある方は、69歳までできます。

種類	成分献血		全血献血	
	血小板成分献血	しょう血漿成分献血	400mL献血	200mL献血
年齢	男性 18～69歳 女性 18～54歳	男女とも 18～69歳	男性 17～69歳 女性 18～69歳	男女とも 16～69歳
体重	男性 45kg 以上 女性 40kg 以上		男女とも 50kg 以上	男性 45kg 以上 女性 40kg 以上

※ご協力いただく皆さんの健康を守るため、献血の種類によってそれぞれ基準を設けています。

Q 全血献血と成分献血って何？

A 献血には「全血献血」と「成分献血」があります。全血献血は血液中のすべての成分を献血していただく方法で、400mL献血と200mL献血の2種類があります。成分献血は、特定の成分だけを採血し、回復に時間のかかる赤血球は再び体内に戻す方法で、血小板成分献血と血漿成分献血があります。成分採血は身体への負担も軽く、多くの血漿や血小板を献血していただけるという特長があります。

Q なぜ、献血が必要なの？

A 日本国内では、1日あたり約3,000人の患者さんが輸血を受けていると言われています。現在、輸血に使用する血液はまだ人工的に造ることができず、長期保存することもできません。患者さんによっては大量の輸血を必要とする場合もあり、輸血に必要な血液を確保するためには、一時期に偏ることなく、1日あたり約13,000人の方に献血にご協力いただく必要があります。

弟が輸血で助けてもらいました



献血は16歳から続けています。小学生の時、弟が手術することになり輸血が必要になったのですが、私はまだ年齢的に献血に協力できませんでした。16歳になって、街中で献血バスを見つけた時、「(この時を)待っていた!」と思いました。

献血をすると、社会貢献している気になります。検査もしてもらえるから自分の健康状態も知ることができますね。事前検査の結果により献血できなかったこともあります。不摂生しているとやはりダメ。食生活の影響はすごく出ると思います。

岡田美貴子さん(40代女性・会社員)

自分の健康にも感謝できます



献血しようと思ったきっかけの一つは、母親が腰を悪くして手術した時、自己血でまかなえず輸血を受けたことかな。母がお世話になったので、献血することで役に立ちたいという気持ちで続けています。献血は他のボランティアと違って目に見えるような活動ではないし、血液の提供相手も分からないけれど、誰かの役に立つのなら、と思っています。自分の健康にも感謝することができます。

幸(みゆき)さん(40代女性・自営業)

太り過ぎで献血NGの経験が...

最初の献血は学生の時。その頃は体重が100kgくらいあって、肝機能に問題があるからと献血を断られてしまったんです。太りすぎはダメなんだなと思いました。社会人になって東京に出てきてからダイエットして、リベンジしたくてチャレンジしました。その時は献血できたのでうれしかった。断られた時は、やはり悔しかったので。献血は、手軽に人の役に立てるので、やってみてほしいですね。僕も続けていくつもりです。

岡元 一博さん(40代男性・会社員)



ルームでの時間が息抜きや刺激に

最初の献血は20年以上前。怖くはなかったけれど、経験したことはなかったから最初は緊張しましたね。秋葉原の献血ルームなどカルチャーに合わせたルームづくりを見ていると、仕事のアイデアの刺激にもなります。今日は午後、仕事が休みなので来ました。いい息抜きになっています。

献血は気軽にできる社会貢献。病気の方ばかりでなく、災害でケガをした方なども血液が必要になるかもしれませんよね。そうした人たちの役に立てているのかなと思っています。

加藤 孝典さん(40代男性・会社員)



赤十字との付き合いは学生時代から



最初の献血は高校生の時。学校に献血バスが来たので。授業もサボれていいかなと(笑)。針が痛いとか怖いとかはなかったです。歯医者に比べればなんてことはない。気軽にできるなと思いました。大学生の時に赤十字ボランティアとして活動していたので、献血推進の活動に関わっていた経験もあるんですよ。

山崎 雅也(20代男性・会社員)

69歳まで献血してました!

毎週金曜日の午後に献血ルームにボランティアに来ています。20代の頃から献血を続け、69歳で(年齢制限で)献血が終わったときに、ちょうどボランティアを募集していて、やってみようかと思いました。それ以来、16年間続けています。最初の献血は、運転免許の更新で免許センターに行ったとき。献血のほかに、世の中にいいことをしていませんからね。世の中の役に立てるからと思って長い間、献血を続けました。

赤十字個人ボランティア 湯浅 弘子さん(80代女性)



献血って実際どうなの??

みんなの献血体験談

献血ルームでは、毎日大勢の方に献血していただいています。

皆さんはどうして、献血しようと思ったのでしょうか。

また、なぜ献血を続けてくれているのでしょうか。

渋谷のハチ公前献血ルームと献血ルーム池袋い〜すとで聞いてみました!



ハチ公前献血ルーム



献血ルーム池袋い〜すと

誕生日の記念に献血!



今日が誕生日なので、1週間前から献血を予約していました。お酒も控えて体調はバッチリ!今日は献血後、ステーキを食べに行きます。献血がきっかけで、赤十字の災害救護ボランティアにも登録しました。献血や赤十字の活動で、自分とは世界が違う人と知り合うことができるのも楽しいです。献血に来ると、職員さんや看護師さんが笑顔で迎えてくれるのもうれしいですね。気分が落ち込んでいる時に献血に来て、スタッフさんの笑顔に元気をもらって帰ったことも。献血は、優しさに会えるし、自分も幸せになれる。献血に来ると「ただいま」っていう感じがします。

梅村 久子さん(60代女性・会社員)

インスタの投稿を見て



今日で10回目の献血です。最初は去年の6月頃。インスタでフォローしている人が献血に行っていて、今日は何回目などとアップしているのを見て興味を持ったのがきっかけ。地元には献血ルームがありませんでした。行く機会がなかったけれど、上京したらたくさんあって、簡単に行けるので始めてみた感じですね。予防接種も大丈夫なタイプなので、針が怖いとかはないです。医療ドラマを観るのが好きなので、どこかで、誰かの役に立っているのかなって思います。

小熊 志歩さん(20代女性・大学生)

今回初。スムーズでしたよ!



奥さまは1度経験あり。旦那さまは奥さまに誘われて今回、初の献血。(夫)海外出張が多く、なかなか機会に恵まれなかったのですが、お役に立てることがあればと思って来ました。献血までの流れはスムーズだったし、またタイミングが合えばやりたいと思います。(妻)祖母がずっと献血していました。私も出産時の検査でRhマイナスということが分かって、じゃあ献血しなくちゃと思いました。夫は健康だし、今日はヒマそうだったので(笑)、誘ってみました。私が初めて献血した時もスタッフが質問に丁寧に答えてくれて、不安なく献血することができました。漫画や雑誌も充実していて過ごしやすいです。

H.Sさん & A.Sさん(40代ご夫婦・会社員)

仕事や遊びに出かける前に



2週間に1度は献血に来ています。最初は大学生の時。よく行く漫画喫茶のビルに献血ルームが入っていたので、フラッと入った感じです。いったん中断したけれど、再開したきっかけは、自分にできる社会貢献はこれくらいかなと思ったから。血液の検査をしてもらえるというのもありますね。今日はこれから仕事です。近くに住んでいるので、フラッとやって来て、献血してから仕事などに出かける感じで続けています。

西谷 友孝さん(30代男性・フリーランス)

＼ 人間を救うのは、人間だ。/ 血液がつなぐ未来

皆さんから献血していただいた血液は、
ケガや病気で苦しむ患者さんのいのちを救うために役立てられています。
輸血を受けた方々の声を紹介します。

献血する人はヒーローだ！

マルフォートラ マイケルさん(23歳)



19歳のときに急性前骨髄球性白血病と診断され、7か月の闘病生活を送りました。その中で、たくさんの方の輸血を受けました。献血をしてくれた方がいなければ私はここにいられませんでした。

私は、小さい頃からバスケットボールをしてきました。辛い練習は数え切れず。けれど、白血病の治療に比べれば、大したことはありませんでした。発症前の私にはがんも献血も他人事でしたが、闘病生活を通して、苦しんでいる方や小さな子どもたちが今、この瞬間に大勢いて、輸血がないと成り立たない治療があることを知りました。

そんな患者さんのためにできることは、献血です。献血は人を助けられる行為。献血する人はヒーローだと私は思っています。

私は退院から1年でバスケットボール部に復帰し、2年後には公式戦に出場するという目標を達成しました。白血病から得た経験を活かし、世の中で苦しんでいる方々を助けたり、世に良い形で影響を与えられたりするような人物になりたいと思っています。



誰もが平等に 生きられるチャンス

高橋 真さん(20歳)



19歳のときに急性リンパ性白血病になり、1年間におよび治療で多くの輸血を受けました。治療中の副作用は過酷で、肉体的にも精神的にも負担が大きく、とてもつらかったのを覚えています。

病気にかかるまで私は献血に関心がなく、したこともありませんでした。そんな自分が誰かの献血のおかげで生きられていることに、ありがたさ以上に無関心だったことに対する悔しさを感じました。

この先、自分と同じように、またはそれ以上に辛い経験ををする人がいると思います。もし輸血できる血液がなかったらまだ助かる生命のチャンスさえ奪われることとなります。誰でも平等に生きるチャンスを得られるよう、献血へのご協力をお願いいたします。

退院して半年が経った現在は部活動に復帰し、サッカー中心の生活を送っています。以前は当たり前の生活でしたが、入院を経て、思いきり体を動かせることがとても楽しくて幸せです。



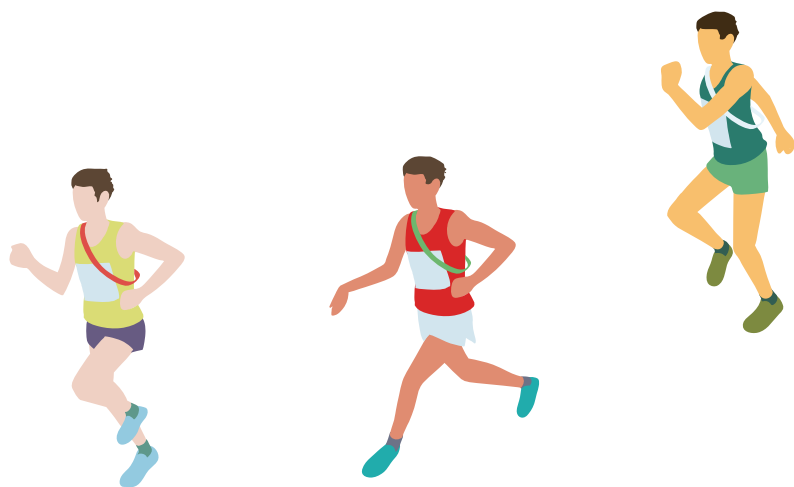
献血でいただいた血液は、誰かの未来を明るく、生き生きと輝かせています。
たくさんの笑顔が連鎖するように、
これからも継続的な献血のご協力をお願いいたします。

つづけ、つながれ、防災

悲しみの中にいる人に、こころを寄せること。
誰かの未来を守りたい、と思うこと。

防災、それは時として、人々をつなぐ合言葉になる。
誰かを思うところが、人と人をつないでいく。

守りたい明日に向けて、今、できることを。
つづけ、つながれ、防災。



すべての人が夢中になれる防災を

「防災が大切なのは分かるけれど、本音を言えばつまらないよね」と思っている人、実は多いのでは？ NPO 法人プラス・アーツでは、「正しいことより、楽しいことを。」をモットーに、楽しく遊びながら防災を学べる企画を提供しています。アーツ（アート、デザイン、既成概念にとらわれないアーティスティックな発想など）と防災を融合させ高く評価されている理事長の永田宏和さんに、プラス・アーツの活動に込めた思いを伺いました。



カエルの人形をけが人に見立て、毛布を使った担架で救出作戦！



ストラックアウト風の的をめがけて、チャレンジゲーム形式で消火器の使い方を学ぶ

節目に、神戸市から周年イベントの企画の依頼が来たんです。神戸の子どもたちの元気な姿や笑顔を発信したいということでした」

震災直後、被災地に関われなかったという後ろめたさを感じてきた永田さん。「ようやく自分が役に立てる番だ！」と思ったそうです。「た

だ、震災10年をもっとフォーカスして、次の世代につなげるようなことがしたいと思いました」。

そうして、子どもたちに大人気だった企画「かえっこバザール」と防災教育をドッキングさせた「イザ！カエルキャラバン！」が誕生しました。

「かえっこバザール」は、子どもたちがおもちゃを持ち寄り、交換やオークションをするイベント。ここでのワークショップに防災訓練を組み込みました。もちろん、ただの防災訓練ではありません。担架で運ぶ人形はカエル、消火器のめカエルにするなど、子どもが楽しめる工夫を随所に盛り



インドネシアでは、カエルが子鹿の人形に



集めた被災者の声は、みんなに役立つ情報に



NPO 法人プラス・アーツ理事長
永田 宏和さん
Hirokazu Nagata

兵庫県西宮市生まれ。阪神・淡路大震災の周年事業を機に「イザ！カエルキャラバン！」を開発後、2006年にNPO法人プラス・アーツを設立。現在理事長。

原点は阪神・淡路大震災復興に関われなかった悔しさ

楽しみながら防災を学べるプログラム「イザ！カエルキャラバン！」や、地震への備えをイラストで分かりやすく伝える「地震ITUSMOプロジェクト」など、おしゃれでスタイリッシュに、大切な情報を発信している永田さん。神戸を拠点に防災教育の普及などに取り組んでいます。

出身は兵庫県西宮市。都市開発やまちづくりを学んだ後、社会人2年目の冬に阪神・淡路大震災を経験したことが、現在の活動につながる原点になりました。

永田さん自身は当時、大阪に住んでいたので大きな被害はありませんでしたが、若い頃に「デートしたこともある思い出の街・神戸が壊滅的な被害を受けたことに大きなショックを受けました。

「西宮市の生家も被災しました。

域の住民自身が企画・運営していくことです。永田さんたちは、あくまでそのお手伝いをするというスタンスです。

この仕事を機に防災の仕事を手格化させた永田さんは、被災者の声を徹底的に聞き取りました。その数、167人。被災者の声にイラストを付けて2007年に「地震イツモノート」として出版。東日本大震災が起きた時、その情報を「地震ITUSMO.com」というWEBサイトのなかで公開しました。「地震のあと」「避難生活」のコーナーに分けて、被災者の実体験に基づいた知恵や工夫、注意点をイラスト付きで紹介。現在もホームページから無料でダウンロードできます。

2018年には日本赤十字社と共同で防災教材「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」を開発しました。幼稚園・保育所の子どもたち向けの教材で、街や部屋の絵を見ながら、危険な箇所はどこかについて学べます。可愛いイラストが描かれたパネルを使いながら学んでいくことから、「子どもたちが災害時のことをイメージできることが最大のポイントです」（永田さん）。

実際にこの教材を使った武蔵野赤十字保育園では、「いつもは発言しないおとなしい子も積極的に話していた」「私自身も気づかないポイントを指摘してくれた」など保育士からも好評です。自主的な意見が出ることや高い集中力で臨む子どもたちの姿に驚いた様子でした。

小さな子どもは大人に「守られる」存在と考えがちですが、この教材を通じて、子ども自身が自ら判断し、「自分のいのちは自分で守る」ようになれることをめざしています。

地域の防災は
地域住民にしかできない

永田さんの開発したプログラム

は、単に「防災を楽しく学ぶ」とどまらない仕掛けがあります。

例えば、「イザ！カエルキャラバン！」で使う人形は裁縫が得意な〇〇さんに、イベントで使う機材は日曜大工が得意な〇〇さんや鉄工所の〇〇さんに担当してもらった。絵を書くのが得意な人、キャンプに詳しい人、スポーツの指導ができる人：自分たちの手でつくり上げる「お祭り」のイメージです。地域住民たちの交流や地域のネットワークづくりにつながる仕掛けなのです。

「まちづくりも防災も、無関心な人の方が多いと思います。そこに興味・関心を持ってもらい、参加し、運営にも関わってもらい。みんなでつくる大切さを知ってもらえたらうれしいですね。地域の防災は、地域の人にはできませんから」と永田さんは語ります。まちづくりのために人も人づくりが欠かせないと、いまは人材育成に力を入れています。シニア世代がパン職人からパン作りを学ぶ「男・本気のパン教室」など、ワクワクする講座を多数展開中。興味のある方はデザイン・クリエイティブ神戸（KIITO）のホームページも覗いてみてください。



防災講座を受けた市民が、今度は子どもたちに防災の大切さを伝える

NPO 法人プラス・アーツ
<http://plus-arts.net>

デザイン・クリエイティブ神戸（KIITO）
<http://kiito.jp>



「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」の絵を見ながら、一生懸命に考える子どもたち（武蔵野赤十字保育園）

津波から助かった経験を次世代へ

『請戸小学校物語』を制作した「団塊のノーブレス・オブリージュ」



請戸小学校の校舎の時計は津波到達時刻で止まったまま。地震発生から約40分後のことだった

東日本大震災から、まもなく9年。「記憶を風化させたくない」という地元の思いを形にし、巨大津波に襲われながらも児童全員が助かった福島県浪江町・請戸小学校での出来事を語り継いでいるグループがあります。東京都新宿区早稲田を拠点に活動するNPO法人「団塊のノーブレス・オブリージュ」。事実をもとに絵本『請戸小学校物語——大平山をこえて』を制作し、紙芝居、映像作品、合唱とのコラボなど、さまざまな手法で、この記憶を伝え続けています。



『請戸小学校物語』絵本表紙



避難の経験を五感で感じてほしいと、避難ルート体験ツアーも開催。この日も強く冷たい風が吹いていた



あの日を経験した当事者が、自分の声で物語を語り始めたことに大きな意味がある

団塊のノーブレス・オブリージュ

その名の通り、団塊の世代で構成されるNPO法人。2006年に結成され、定年後の人生をどう送るかをテーマに、パソコンスクールや起業支援フォーラムなど、さまざまな講座を開催。「ノーブレス・オブリージュ」とは、社会的地位のある者は相応の義務を負うべきという考え方。社会人としてのこれまでの経験を社会に還元したいという思いが込められている。

東京都新宿区西早稲田1-4-14 Office Hello内▶連絡先：dno-info@dankai.jp



お話を伺った「団塊のノーブレス・オブリージュ」の皆さん。前列右から内田さん、加藤さん、皆川さん、田中さん。後列右から黒木さん、平瀬さん

武蔵野美大の学生が絵を描き、早稲田大出身のライターが原案を作成。子どもや先生たちに徹底的に話を聞き、文章はメンバーで何度も議論し、推敲を重ねました。若者の新鮮なアイデアを活かしつつ、読み手を意識した編集を加え

う！」ということに。

武蔵野美大の学生が絵を描き、早稲田大出身のライターが原案を作成。子どもや先生たちに徹底的に話を聞き、文章はメンバーで何度も議論し、推敲を重ねました。若者の新鮮なアイデアを活かしつつ、読み手を意識した編集を加え

ることで、作品をブラッシュアップさせていったのです。

子どもたちが実際に避難した経路も、同じ3月、同じ時間にたどりました。メンバーの1人は、「いわば“部外者”の私たちだから、事実在即した記録を残せたのかもしれない」と話します。こうして2015年、絵本『請戸小学校物語』が完成しました。

当初、紙芝居の語り部は「団塊のノーブレス・オブリージュ」のメンバーが担当していましたが、「福島の子どもたちに語り継いでもらうことが大切」と、語り部の養成にも取り組みました。現在は、震災当時請戸小学校の児童だった大学生らが語り部となって活動しています。

事実を知り、自分ごととして

「絵本でも映像作品でも、体験をすべて伝えられるわけではありません。それでも、事実としてあったことを、次の世代の人たちになるべく正確に伝えたいと思いました」と、あるメンバーは語ります。

地元で経験を語り継いでいくことも大切ですが、同時に「この話を自分たちの地域にあてはめて考えてみてほしい」とも。絵本の最

後の言葉、「あなたにとっての大平山はどこですか」に、読者への思いを込めました。未曾有の大災害だった東日本大震災での経験・事実を風化させたくない。そして、その経験から日頃の備えや防災に取り組むことの大切さを感じてほしい――。

福島の子どもたちに語り継いでもらう活動を今後、どう広げていくか。今はそれを模索しているところです。

3・11のあの日 子どもたちは…

請戸小学校は海岸から200mほどにある小さな学校です。全校生徒は約100人。その日も、小学校の1日はおだやかに始まりました。「校長先生、おはようございますすっ!」「校庭で早く遊ぼう!」「もうすぐ春だね」

体育館には、卒業式を間近に控え、「祝修・卒業証書授与式」の横断幕がかかっていた。ところが…

5時間目のじゆぎようが終わろう

としていた時です。

学校がゴゴオと大きな音をたててゆれはじめました。

「地震だっ」

これまでに経験したことのないような大きな揺れが子どもたちを襲いました。

はやく校庭に出なさい!

先生の声でぼくらは校庭へかけだしました。

「とにかく高いところへ!」

「大平山へ!」

と校長先生は大声で言いました。

余震が続くなか、子どもたちは約1.5km離れた大平山に向けて

福島県初の震災遺構に

—— 請戸小学校

請戸小学校のあるエリアは、福島第一原発事故による避難指示が出てから2017年3月31日に避難指示解除が出るまで、居住が制限されました。請戸小学校から避難した子どもたちは、家族とともに町の外へ避難することを余儀なくされました。浪江町の一部は現在も立ち入りが制限される帰還困難区域に指定され、今なお2万人を超える人々が県内外に避難しています。

2019年2月、浪江町は請戸小学校を震災遺構として保存・活用する方針を決定しました。災害や原発事故の脅威・教訓を次世代に継承し、防災・減災意識向上に寄与する場として整備される予定です。



体育館には、開催できなかった卒業式の横断幕が残る

走ります。避難の車で渋滞する道を渡り、車イスの友達を助けながら、なんとか山頂へ。幸い全員無事でしたが、町は津波に飲み込まれてしまいました。もう町へは帰れません。

山頂から避難所へ向かう頃には日暮れてしまい、途方にくれる子どもたち。そこへ偶然、運送会社のトラックが通りかかり…。

無事に避難所に着いて、長い長い3月11日が終わったところで絵本は終わります。

請戸小学校の子どもたちは、なぜ無事だったのか？ 地震の後に

津波が来ることを知っていた。津波が来たら大平山へと教えられていた。山頂への道など自分たちの町のことを知っていた。先生を信頼し、指示に従い即座に行動した…。絵本は最後に問いかけます。「あなたにとっての大平山はどこですか」。

大勢の力で
つくりあげた作品

「団塊のノーブレス・オブリージュ」のメンバーが請戸小学校のことを知ったのは、故郷の福島に戻ったメンバーからの、「津波の被害地域を見てみては？」との誘

過去をいたわり、
未来を救うメッセージ

今回の特集で取り上げた請戸
小学校の事例からも分かるよう
に、災害から自分自身や大切な
人のいのちを守るためには、過
去に学び備えること、そして
その教訓を未来の防災・減災に
つなげていくことが大切です。
大きな被害をもたらす災害が頻
発する昨今では、それぞれの災
害の記憶が薄れていくのも早く、
被災エリアの現状が伝えられる
ことも少なくなっています。

日本赤十字社の「私たちは、
忘れない。」は、過去の災害によ
り未だ苦しむ方々に寄り添い支
えること、そして、過去の災害
から得た教訓を未来に継承して、
これから起こりうる大規模災害
からのいのちを守ることを目的と
した防災・減災の啓発プロジェ
クトです。

プロジェクトコアメッセージ

「私たちは、忘れない。」の意味

1

災害によって今なお苦しむ人々を
支え続けるという

意思表示

2

過去の教訓を未来の災害対応力に
つなぐための

合言葉

今年3月には特設サイトがオープン（予定）

— Coming Soon

一人でも多くの方に、「私たちは、忘れ
ない。」というメッセージをお伝えして、
被災者を支えるアクションや防災・減災
に取り組むきっかけづくりとしていくた
めに、日本赤十字社の特設サイトとリン
クした東京都支部オリジナルサイトを併
設して、東京都内における発信力を高め

ていきます。防災・減災のお役立ち情報
やアンバサダーメッセージなど、盛りだ
くさんのコンテンツを予定しています。
また、皆さん自身が発信者となって防
災・減災の輪を広げていただく企画も準
備中。ぜひ多くのご参加をいただければ
幸いです。

※詳細は、2月中旬頃までに東京都支部HPなどでお知らせします。



私たちは、
忘れない。

PROJECT
2020



武蔵野赤十字病院

- 所在地 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1
- 連絡先 Tel 0422-32-3111 (代表)
- 休診日 土曜、日曜、祝日、5月1日(赤十字創立記念日)、年末年始
- 病床数 611床(一般528床、ICU 8床、HCU 22床、GICU 6床、SCU 9床、NICU 6床、GCU 12床、感染症20床)

武蔵野赤十字病院は、多摩地域で初めてロボット支援手術の保険請求が認められました。最先端の手術支援ロボット「ダヴィンチ」の活用事例をご紹介します。



泌尿器科
田中 良典
Yoshinori Tanaka



産婦人科
梅澤 聡
Satoshi Umezawa

ロボット支援手術が受けられます！

産婦人科&泌尿器科

「ダヴィンチ」による
子宮全摘出術

「ダヴィンチ」は、1台で複数診療科の手術に対応できます。産婦人科では、2018年12月から「ダヴィンチ」による子宮全摘出術式導入に向けて準備を始め、2019年2月より手術を開始しました。当院は、多摩地域で初めてのロボット支援手術子宮全摘出術の保険請求施設です。

当科では、患者さんの体への負担を軽くするため腹腔鏡下手術を積極的に行い、現在、年間400例を超す手術を行っています。

今回、ロボット支援手術を導入することにより、3次元拡大視野、手より可動域の高い操作アームにより難易度の高い手術を低侵襲で行うことが可能となりました。

子宮体がんの手術では、広範囲にわたっていた皮膚切開の範囲が大幅に縮小します。保険請求が認められたことから、こうした最先端技術の手術が保険診療で受けられるようになりました。



手術室で「ダヴィンチ」を操作する医師たち



手術支援ロボット「ダヴィンチ」を使った手術のようす

体にやさしく、
より精度の高い手術

泌尿器科では2019年5月から、「ダヴィンチ」による腹腔鏡下手術システムによる前立腺全摘除術(RARP)を開始しました。

ロボット手術では3次元の拡大映像を見ながら、可動性が向上した鉗子で手術を行います。現在、わが国の前立腺がん手術の約8割がこの術式で行われています。

従来の開腹手術では、狭い骨盤内にある前立腺を出血させることなく確実に摘出し、膀胱と尿道を確実に吻合することは熟練した外科医でも難しいものでした。

実際にRARPを行ってみて、術中の出血量が格段に少ないこともあり、術後の回復が早いことも実感しています。

がんを取り残すことなく摘出できる確率も高まり、術後の早期回復は早期社会復帰にもつながるなど、患者さんのQOL(生活の質)向上につながることが期待されています。





JRC KATSUSHIKA MATERNITY HOSPITAL

葛飾赤十字産院

- 所在地 〒124-0012 東京都葛飾区立石5-11-12
- 連絡先 Tel 03-3693-5211 (代表)
- 休診日 日曜、祝日、年末年始
- 病床数 113床 (産婦人科68床、NICU・GCU等45床)

医療技術部 栄養課 管理栄養士

永嶋 晴香

Haruka Nagashima

成島 真理

Mari Narishima

近年、災害が相次ぎ、災害備蓄に対する関心も高まっています。2018年8月には厚生労働省などにより乳児用液体ミルクの規格が制定され、基準に適合した液体ミルクが国内で製造・販売できるようになりました。

災害に強いミルクとは!?

国内での発売は2019年3月に始まり、現在は2社のメーカーから販売されています。

災害備蓄を主な目的としてつくられた液体ミルクですが、災害時以外でも外出時や夜間の授乳等、日常の便利品としての需要も高く、スーパーやドラッグストアでも販売されています。災害時は断水や停電などにより衛生的な調乳機器を用意できない可能性があるため、当院でも9月から災害時に液体ミルクの備蓄を開始しました。

手軽に使えるのが魅力

液体ミルクには次のようなメリットがあります。

- ・調乳の手間がなく簡単（消毒した哺乳瓶等に移して使用）。
- ・お湯やミルクを冷ますための水が不要。
- ・常温のまま飲める。
- ・栄養組成は調乳後の粉ミルクとほぼ同じ。
- ・滅菌済みで衛生的。

使用方は、手を洗い、缶や紙パックの製品をよく振ってまぜ、消毒した哺乳瓶等に移し替えればOK。

使用する際の注意点は、開封後はすぐに使用し、飲み残しは雑菌が繁殖しやすいので与えないこと、直射日光や火の近く、夏場の車中等を避けて保存する——など。

災害時に対応できるよう勉強会を開催

当院では、医療従事者として液体ミルクの知識を持ち、災害時にスムーズな対応ができるよう、職員を対象に液体ミルクの勉強会を開催しました。

通常の使用方法や注意点のほか、災害時を想定し、紙コップを使用した授乳方法や使い捨て哺乳瓶の使用方法も学び、2社の液体ミルクと当院で使用している粉ミルクの色の比較や、飲み比べを行いました。

いつ起こるか分からない災害に備えて、各家庭でも備蓄しておく



栄養課職員と厨房スタッフ「妊産婦さんの食事は任せて！」



従来の粉ミルクと2社の液体ミルクを比較

Hospital Referral



JRC OMORI HOSPITAL

眼科部長

秋山 朋代

Tomoyo Akiyama

大森赤十字病院

- 所在地 〒143-8527 東京都大田区中央4-30-1
- 連絡先 Tel 03-3775-3111 (代表)
- 休診日 土曜、日曜、祝日、年末年始 (急患は随時)
- 病床数 344床 (一般326床、ICU・CCU 6床、HCU 12床)

皆さんが眼科を受診するのは、どのような時ですか？ 見え方が気になる、目が痛い、まぶたが腫れた時などでしょうか？ 全身の病気と同様、眼の病気にも早期発見が大切です。

眼科受診をためらわないで

自己判断で放置は危険です！

早期に発見したい眼の病気の代表は、子どもの眼の病気です。先天性の白内障や緑内障、眼瞼下垂、一部の斜視、網膜芽細胞腫などは早期の手術が必要です。

強い近視や遠視、乱視、度数の左右差などでは、眼鏡をかけるなど、早期に対策を開始すべきものもあります。

小さい子どもは自分に症状があるというのに気づいたり、言ったりすることができません。健診で見つかることも多いため、眼科受診を指示されたら放置せず受診することが大切です。また、気になる症状があれば、かかりつけの小児科に相談したり眼科を受診したりして、治療の時期を逃さないことが重要です。

大人は緑内障に注意

早期には自覚症状がなく、早期発見・進行予防が大切な中高年の眼の病気の代表が緑内障です。ほとんどの緑内障は少しずつ進行するため、かなり視野狭窄が進行してから異常に気づいて受診して

病気がわかる方も珍しくありません。

緑内障で失った視野は原則として取り戻せないため、早期発見が大切です。急性の緑内障発作では急に視野を失うこともあり、発作を起こしやすい眼であることが眼科受診でわかることもあります。

検診で高眼圧や視神経乳頭陥凹拡大を指摘された、血縁に緑内障の人がいる、気になる症状（視野が狭い、電球に虹がかかる、なんとなく見えづらい、頭が重いなど）がある場合は、眼科で検査を受けることをおすすめします。

失明原因として増えてきている加齢黄斑変性も早期診断が大切です。喫煙、紫外線や太陽光の中の青色光、ビタミンC/E・ルテイン・亜鉛などの不足は加齢黄斑変性のリスクと言われていています。画像診断や治療方法の進歩により、早期発見が可能な病気のひとつになりました。時々、片眼ずつ見え方をチェックして、歪んで見えたり真中がうす暗く見えたりしたら、すぐに受診しましょう。



おなじみの視力表などが並ぶ診察室



検査の右腕とも言える細隙灯顕微鏡検査機器

Hospital Referral

自らの力で防災・減災力を高める

～日赤のネパール・コミュニティ防災事業～

WORLD
NEWS

活動の軸は、地域住民で構成される「自主防災組織」を根付かせること。日赤は、地域の防災拠点としての自主防災組織が自らの防災計画を自主的に策定し、将来にわたって地域住民のいのちと健康、尊厳を守ることができるよう、側面からの支援を行っています。

具体的には、日本の自治会にあたる単位の「コミュニティ」に自主防災組織の設置を後押しすることから始まり、設置された組織が地域の課題を特定したうえで、地域住民自らがその課題解決のための活動（災害リスクのマッピング、防

“私たちのいのちは私たちが”
自主防災組織を支援



今回の事業によって、災害時にも救助に頼らず、住民自らの力で災害に対応し、被害を最小限にとどめることができる力が確実に育まれてきました。赤字は今後もボランティアを主体とした活動を通じ、最も弱い立場に置かれた人々が決して取り残されることのないよう、必要とされる国際協力を進めていきます。

日赤の支援地域であるグルミール村のジャヌカさんは、「今までの防災活動は各家庭で知識もなく気の向くままやっていました。日赤の支援によって、私たちは組織的に、地域ぐるみで活動できるようになった」と語ります。

南アジアの内陸国であるネパール連邦民主共和国は、6月～9月の雨季を中心に洪水や地滑りなど、多くの自然災害に見舞われています。しかし、防災への取り組みは、急速に進行する都市化や人口流出による防災の担い手不足など、多くの課題に直面しています。こうしたなかで、ネパール赤十字社は災害対応力の向上に取り組んでおり、日本赤十字社も2012年からその活動を支援しています。

防災、生計支援などを展開するところまでをサポートしています。コミュニティの災害対応能力が上がるにつれ、実際に災害時に対応できるようになりました。また、自主防災組織が中心となって、以前から課題になっていた保健衛生環境の改善に向けた取り組みも始まりました。こうした活動は、地域住民から高く評価されています。

赤字国際ニュースのメールマガジンに登録しませんか？ 定期的にニュースがお手元に届きます。登録・閲覧はこちら↓



赤字国際ニュース(まぐまぐ)



被災した時を想定して救助と捜索の技術を習得



防災知識の普及に取り組む女性ボランティアたち

武蔵野赤十字保育園

この春、新しい園舎に！大規模改修工事始まる



2歳クラス

シュロの木を見て「なにかいるよ！」



5歳クラス

ホールごはん。「みんなで食べると楽しいね」

武蔵野赤十字保育園では、夏祭りや運動会を無事に終え、本格的に大規模改修工事が始まりました。少しずつ工事を進めていくため、クラスごとにお部屋の引っ越しをして生活しています。

お部屋の壁が仮の壁になっている4歳のクラスでは、みんなでお絵かきした絵を壁に貼り、少し狭くなったお部屋を飾りつけてうまく使っています。5歳は2クラス合同で大きな遊戯室を使っている生活です。最初は戸惑っていたようですが、今では通常通りの生活ができています。とくに給食の時間はみんな一緒なので、楽しそうです。

シュロの木が生き物に！

工事の際に伐採したシュロの木を生き物に見立てて園庭に置いておきました。子どもたちは、「なんだろう？」「なにかいるよ！」と興味津々。工事で少し狭くなっている園庭にも、また一つ楽しみができたようです。

2020年3月頃にはすべての改修工事が終わり、新しい園舎となります。新しい園舎での生活を楽しみにしつつ、今しかできない生活を楽しんで日々を過ごしています。

赤十字子供の家

性教育を語り合う職員が“生と性”の勉強会

WELFARE
FACILITY
NEWS

生や性について学びを深めようと、赤十字子供の家では6年ほど前に職員有志が“生と性の勉強会”を立ち上げました。「赤ちゃんはどこから生まれるの？」という質問にどう答えたらいいかといった素朴な疑問から、施設の子どもたちに対してどのように性教育を実施していくかなど、さまざまなテーマをもとに意見交換をしています。

助産師を講師に迎えて

今回、この勉強会のことを知った武蔵野赤十字保育園の園長先生のご尽力のもと、武蔵野赤十字病院の助産師2人をお招きできることに。勉強会のメンバーに加え、他の職員も大勢参加して学習会を開催することができました。

学習会では助産師の方がさまざまなところで実施している活動についてご紹介いただき、その後、座談会という少し砕けた雰囲気の中で意見交換をしました。

この世に誕生した子どもたちが自分のいのちを誇りに思えるよう、私たち大人は何ができるのかという、基本でもあり難しくもあるテーマについて、職種や所属する部署を超えて考えることができた、有意義な時間となりました。

赤十字子供の家では、絵本の読み聞かせをしながら「生や性」を考えるきっかけづくりをしています

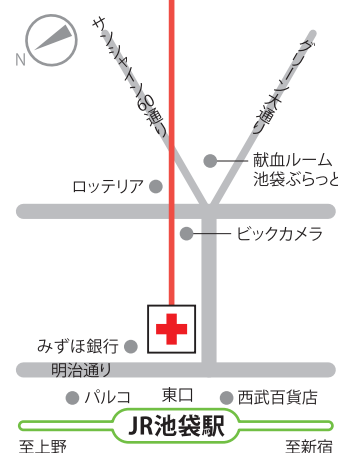


職種や部署を超えて職員たちが集まりました

OLレポーターオカモト★日赤とつげきレポ 紹介献血ルーム



献血ルーム 池袋い〜すと



🕒 受付時間

▶ 成分献血

9:30~11:00 / 13:00~16:30

※土日祝日は昼中断なし。
※受付状況により、成分献血の受付を早めに終了させて頂くことがあります。

▶ 400・200mL

9:30~11:45 / 13:00~17:15

※土日祝日は昼中断なし。

☎ 電話

03-3988-9000

📅 定休日

12月31日・1月1日

📍 場所

〒170-0013

東京都豊島区東池袋1-1-4

タカセセントラルビル8階 (JR池袋駅 東口 徒歩1分)

設置(配布)協力者を募集します!

日赤東京都支部広報誌『NT』を会社や店舗などに設置、またはご友人など周りの方に配布していただける方を募集しています。

詳しくは

☎ 03-5273-6747まで
(総務部企画課直通)



NT
NISSEKI TOKYO

Vol.24
2020年1月発行

バックナンバーは
ホームページでも
ご覧いただけます。



■発行・編集・デザイン／日本赤十字社東京都支部

〒169-8540 東京都新宿区大久保1-2-15 Tel:03-5273-6747 (総務部企画課直通)

※本誌掲載の記事・写真・イラストなどの無断転写(コピー)、複製(転載)を禁じます。

※本誌に掲載されている情報は、発行に伴う情報収集時点での情報を含みます。その後の内容に変更が生じる場合もありますので予めご了承ください。

ホームページ: <http://www.tokyo.jrc.or.jp/>

Facebook: <https://www.facebook.com/redcrosstokyo/>

年4回発行(4月・7月・10月・1月)

日本赤十字社東京都支部にご寄付いただいた方に郵送でお届けしているほか、都内の赤十字病院及び献血ルーム・献血バス等の献血会場でも配布しています。



赤十字 Supporters

赤十字で学んだことを

地域につないでいきたい

中村 淳さん（東京都赤十字救護ボランティア、赤十字減災普及員）

救

護ボランティアは災害時に赤十字の救護活動を支援するほか、防災や減災の知識を広めるお手伝いをしています。私は2年ほど前に救護ボランティアとして登録し、主に後者の防災・減災の教育・普及活動に携わっています。

もともとは地域でボーイスカウトの指導に長く関わってきました。応急手当の必要性を感じて受けた救急法の講習で、救護ボランティアのことを知り、困っている人を助けたいと思ったのがきっかけです。

減災普及員は2019年4月から本格始動したばかりで、赤十字が実施する防災教育を普及する役割を担っています。職員や先輩ボランティアから知識を吸収しながら、月に1〜2回、自治会や学校で開かれるセミナー等で講義や実技指導をしています。

応急手当や心肺蘇生など技術的なことはもちろん重要ですが、私



地域と赤十字をつないでいきたいと話す
中村さん



減災セミナーでは「災害時に役立つ技術」を伝えている

自身はとりわけ、「自助・共助」の考え方に共感しています。大きな災害が起きた時、消防や自衛隊など誰かが助けってくれると思いますが、ですが、発災直後には難しいものです。自分の身は自分で守り、さらに周囲の人と助け合いながらいのちを救っていくことの大切さを、セミナーでも伝えるようにしています。そのためには地域のひととのつながりが大切です。

そこで、赤十字で学んだことを自身のネットワークに広げていきたいと考え、昨年は赤十字から講師を招いてボーイスカウトの指導者を対象にした水上安全法短期講習を開催しました。ボーイスカウトでは水遊びもしますし、近年、水害が相次いでいますからね。そこで学んだことを各自が持ち帰り、それぞれのネットワークで広げてもらえたらうれしいです。

赤十字が掲げる「人のいのちを救う」という考え方は、老若男女問わず誰にでも共通するもの。この考え方を入口に、地域のコミュニティとのつながりをつくっていかれたらと思います。自分がこれまで築いてきたネットワークを生かして、さまざまな人や団体と赤十字をつなぐ。それが自分の役割だと考えています。

活動資金協力者(社)・団体のご紹介

皆様のご協力により日本赤十字社の活動は支えられています。
活動資金のご協力、誠にありがとうございました。

※10万円以上のご寄付をいただき、掲載をご了承いただいた個人、法人および団体等を掲載しています。

活動資金協力に関するお問合せは
東京都支部 振興課 03-5273-6743まで

●千代田区		●世田谷区		(株)稲葉製作所	50万円
光興産業(株)	50万円	網頭 翔真	100万円	●江戸川区	
(株)トキワ	50万円	藤森 博昭	100万円	石川 政明	30万円
(株)朝日写真ニュース	30万円	小林 賢治	50万円	嶋田 慶三	10万円
デキュリオン(株)	25万円	山本 富美子	20万円	(有)小川オート・サービス	10万円
●中央区		田代 博一	10万円	●八王子市	
浜田 寛子	10万円	山崎 達彦	10万円	木下 徳明	10万円
ヒューリック(株)	350万円	三栄製薬(株)	300万円	高津戸 道夫	10万円
エムシーオー(株)	30万円	映心産業(株)	30万円	●立川市	
●港区		(株)ハラジマ	10万円	中村 智英子	100万円
宮崎 純一	110万円	みその商事(株)	10万円	立川市赤十字奉仕団 9班	12万8,320円
高木 富貴子	10万円	●渋谷区		立川市赤十字奉仕団 楽市	10万1,640円
(株)ジェイビーホンダエージェンシス	100万円	金田 麻希	2,000万円	●武蔵野市	
イーパートナーズ(株)	30万円	国際空手道連盟極真会館	10万円	丸山 浩	250万円
(有)藤井クリーニング	10万円	●中野区		齋藤 八郎	10万円
(株)ブライム・オリジンズ	10万円	大谷 昌義	25万5,000円	●三鷹市	
(株)リミックスポイント	10万円	佐藤 み奈子	10万円	田辺 和子	100万円
●新宿区		TCC日本語学校	10万円	河合 直子	20万円
亀井 大悟	30万円	●杉並区		柿澤 康子	10万円
●文京区		岡部 好延	10万円	ソリッド(株)	60万円
サングリエピアノ研究所	10万円	昭和建物(株)	50万円	●青梅市	
●台東区		●豊島区		三和マザック(株)	20万円
野口 香代子	40万円	齋藤 輝枝	80万円	●府中市	
石福ジュエリーパーツ(株)		(特非)酒は未来を救う会	80万円	大内 勝美	10万円
代表取締役社長 山本 孝弘	15万円	(株)神田屋鞆製作所	10万円	●調布市	
玉姫稲荷神社靴のめぐみ祭り市実行委員会	10万円	中央電設(株)	10万円	魚返 美智代	50万円
●墨田区		ロイヤル商事(株)	10万円	田邊 美春	10万円
木塚 靖夫	20万円	●荒川区		●町田市	
木塚 秀江	20万円	柴本 佳子	10万円	近藤 徳彌	50万円
角谷 かつみ	10万円	●板橋区		神蔵 信幸	20万円
深井 靖次郎	10万円	瀬戸川 睦人	50万円	●国立市	
●江東区		●練馬区		関 儀和	40万円
(株)システック	100万円	横山 浩之	150万円	渡辺 恵子	10万円
スズキテクノス(株)	20万円	内田 正弘	10万円	●清瀬市	
●品川区		高原 正雄	10万円	森高 真理	10万円
菅野 鴻三	10万円	(株)関建設工業	10万円	●武蔵村山市	
藤田 公子	10万円	(株)東京機電サービス	10万円	(有)ワタヤ	10万円
(株)オーツカ光学	400万円	●足立区		●神奈川県	
藤信化建(株)	52万7,000円	増山 元美	20万円	(株)テクネ計測	200万円
●目黒区		柳川 幸一	20万円	●埼玉県	
山中 ゆか	110万円	増山 一雄	10万円	川上 良一	50万円
(株)システムサイト	20万円	サイズエリア(株)	50万円	藤井 静江	10万円
●大田区		(有)柳川運送	50万円	●千葉県	
尾曾 利夫	10万円	(株)ナカネ	20万円	(株)ドリームワン	10万円
紺野 博	10万円	三和産業(株)	10万円	●兵庫県	
柴田不動産(株)	10万円	●葛飾区		田尻 邦夫	10万円
東京マルコメみそ販売(株)	10万円	酒井 照子	10万円		

(敬称略・順不同)

Present

日本赤十字社東京都支部の協賛企業様からご提供いただいています。ご応募、お待ちしております！



A.
小物ポーチ
ダイアナ株式会社

カラー：ライトブルー×黒柄
サイズ：W13cm×H7.5cm×D1.5cm
素材：ポニー（天然皮革）
原産地：日本



B.
ハンカチ「サラット＆ドライ」
株式会社アスカ

販売累計200万枚の大人気タオル「サラット＆ドライ」に使い勝手のよいハンカチサイズが登場！優れた吸水速乾性があり、かさばらないハンカチです。
サイズ：W23cm×H23cm
（全10色、色は選べません）



C.
地震イッモ 防災大判ハンカチ
NPO法人 プラス・アーツ

マスクとして、止血の道具として、さまざまな機能を持つ防災グッズ「大判ハンカチ」。災害時の活用方法が、かわいいイラストで描かれています。災害時にはもちろん、普段使いの日用品としてもオススメです。
サイズ：W50cm×H50cm

▼ メールからのご応募限定 ▼

D.



430ml
24本入り
2名様

午後の紅茶 おいしい無糖

東京キリンビバレッジサービス株式会社

紅茶の主成分である「紅茶ポリフェノール」で、すっきりとした飲み口だから、こってりとした食事にもおすすめの本格無糖紅茶です。
（ボトル容量は変更の可能性があります）

E.



600ml
24本入り
2名様

キリン ファイア ワンディブラック

東京キリンビバレッジサービス株式会社

苦味と酸味を抑え、ゴクゴクと飲みやすい味わいでありながら、こだわりの直火仕上げで、冷たくても常温でもコーヒーの香りを楽しめる味わい。

プレゼント応募方法

①郵便番号 ②住所 ③お名前、フリガナ ④年齢 ⑤性別 ⑥メールアドレス ⑦希望するプレゼント番号 ⑧本誌入手場所 ⑨本誌で良かった記事 ⑩本誌の感想（100字程度）を明記し、**メール**または**はがき**でご応募ください。抽選でプレゼントが当たります！

締切は**2020年2月29日**必着。当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

メール

nissekitokyo@tokyo.jrc.or.jp

件名には「プレゼント応募」とご記入ください。

はがき

添付の専用はがきでご応募ください。

※いただいた個人情報はプレゼントの発送および当支部からの連絡のみに使用します。お寄せいただいたご意見・ご感想は個人が特定できないよう配慮したうえで当支部が行う広報に活用させていただきます。製造状況等によりプレゼントの内容が変わる場合もございます。

協賛品募集中！ お問い合わせは ▶ **nissekitokyo@tokyo.jrc.or.jp**

読者の声 (vol.23)



地域コミュニティの中で、子どもからお年寄りまでの年代を越えた関わりを持続けることは、相互理解につながり、「どんなときも支えあえること」につながるのだと思いました。記事を読んで、私も地域の方々とながらを持ちたいなと思いました。

東京都・30歳・女性（その他）

赤十字病院の紹介記事では、産婦人科のセミオープンシステム採用による医療の質の向上や、スポーツ整形外科の意義について、各先生のわかりやすい説明に、医療への取り組みに対する意識の高さを感じました。

千葉県・61歳・男性（akiba:F 献血ルーム）

「核兵器のない未来をめざして」を読んで、現在もマースシャル諸島ビキニ環礁で核実験の被爆者の方々が核兵器廃絶に向けて取り組んでいると初めて知りました。今を生きる私たちは戦争を実体験として語る事はできませんが、風化させずに語り続ける事が私たちの役割だと改めて感じました。

東京都・32歳・男性（有楽町献血ルーム）

2019年台風災害レポート

私たちはこれからも、備える活動と救う活動を続けていきます。



今回、被災地で配付された救援物資の一部をご紹介します。

29 NISSEKI TOKYO



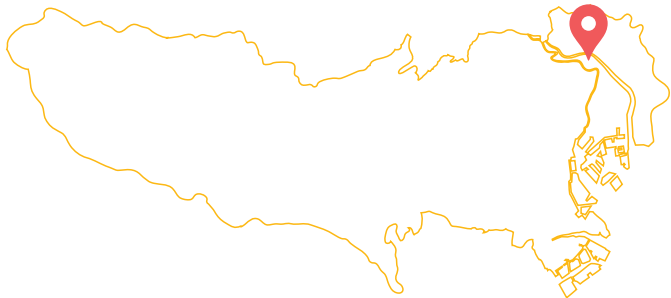
Rediscovery TOKYO

東京を、再発見しよう

+ 東京観光写真倶楽部 TOKYO SIGHTSEEING PHOTO CLUB

写真とはまさに「光を観ること」。東京を〈観光〉しながら撮影を楽しむことを目的とし、2005年に発足した同倶楽部は、東京諸島を含む都内各地で撮影会を開催している。部長を務めるのは、日本赤十字社契約写真家である菅原一剛氏。東京の写真を取り続けている同倶楽部とコラボレーションした連載が、Rediscovery TOKYOです。

菅原 一剛HP <http://ichigosugawara.com/>
東京観光写真倶楽部 <http://tokyophoto.ne.jp/>



第17回

北千住

JR、地下鉄、私鉄が何路線も乗り入れるターミナル駅・足立区・北千住。大学のキャンパスや高層マンションも多く、近年は「住みたい街ランキング」上位の常連だという。

地図を見ると、北千住が位置するのは蛇行する隅田川と荒川に挟まれた中州のような場所。千住大橋は、徳川家康が隅田川に架けた最初の橋だそう。江戸から一つの宿場である千住は、当時、日光街道・奥州街道へと続く北の出入り口だった。

再開発の進んだ駅周辺を後に、足は自然と川沿いや昔ながらの住宅街へと向かう。この日は雨と寒さも手伝ってか、お正月だということを忘れそうほど人影が少ない。建物の中に人の気配を感じながら路地を歩いた。

どこを歩いていても湿度を感じるのは、雨のせい、それとも中州という土地柄か。

いつのまにか雨が上がり、日が射し始める。その日射しに誘われるように、川沿いには人々の影が現れ始めていた。

赤十字職員からNT読者の皆さんに、お役立ち情報をお伝えする「職員通信」。
第7回は防災教育担当の職員から、非常持ち出し品のポイントについてお届け
します。

職員
通信
Vol.7

災害を生き延びるために！

『非常持ち出し品』の中身を確認しよう

災

害に備えて、今からでも
取り組むことができる
のが、あなた自身の減災対策の
見直しです。

避難をする際、あなたが持ち
出す非常持ち出し袋には何が
入っているでしょうか？

メガネや薬、ミルクや離乳食
等、ないと生活に支障が生じ
るモノは一人ひとり違います。
自身で必要なモノに加えて、家族
に必要なモノ等、持ち出し品を
リスト化して、見直す時間を
設けてみましょう。ただし、詰め
込みすぎには要注意。『非常持ち
出し品』は自身で背負って歩
ける重さが目安です。

また、「自分は大丈夫」「ここは
安全」と思い込むのは発災時に
避難が遅れる原因にもなりま
す。自分と大切な人のいのちを
守るため、「モノ」と「ところ」の
備えをしてみませんか？

—— 非常持ち出し品の中身をチェック！ ——

(見落としがちなモノを一部抜粋)

- | | |
|---|---------------------------------------|
| ☐ 現金 (公衆電話用に小銭を含む) | ☐ お薬手帳 |
| ☐ 家族や親戚、職場の電話番号 | ☐ 常備薬・日頃飲んでいる薬 |
| ☐ 充電器 | ☐ ミルク・哺乳瓶 |
| ☐ 携帯トイレ | ☐ 生理用品 |
| ☐ 家族の写真
(はぐれた時の確認用) | ☐ 母子健康手帳 |



今回、お届けしたのは…

日本赤十字社 東京都支部 救護課 防災業務係

筆内 理子 ふでうち まさこ

葛飾赤十字産院のNICU (新生児集中治療室) で赤ちゃんをご家族の看護に
従事した後、2018年度東京都支部へ。現在は救護課において地域の皆さま
へ減災の知識・技術の普及活動を行っています。

仕事も私生活も「やるなら楽しく！」がモットー。日頃は親子犬のチワックス
(ミックス犬) 3匹と賑やかに暮らしています。

非常持ち出し品のリスト(詳細版)はこちら！



日本赤十字社 東京都支部
Japanese Red Cross Society

〒169-8540 東京都新宿区大久保1丁目2番15号
TEL 03-5273-6741 (代表) FAX 03-5273-6749 <http://www.tokyo.jrc.or.jp>

Facebookも見てね！

